

小規模水道布設工事確認申請書及び工事概要書の記載方法について

1 布設工事確認申請書の記載方法

- (1) 申請者の住所氏名
法人その他の団体の場合は、所在地、名称及び代表者の氏名を記載する。
- (2) 小規模水道施設の名称
アパート・マンション等については、〇〇アパート又は△△マンション小規模水道等とすること。
また、地域の住民が共有する水道の場合については、名称がある場合は名称を、ない場合は代表者(組合長等)の名前又は地域の名称を用い〇〇水道組合等と記載すること。
- (3) 小規模水道施設の設置場所
代表番地又は地区名を記載すること。
(例) 〇〇市〇〇町〇〇番地他 〇〇町〇〇地区
- (4) 給水予定人口
施設完成後に給水が見込まれる予定人口を記載する。
なお、入居者人員が未定の場合は、戸数に3人を乗じた数を記載すること。
- (5) 工事着手予定年月日
確認に要する機関を勘案して、適切な工事着手年月日を記載すること。

2 添付書類

- (1) 工事概要書
別紙1の様式により、内容を記載すること。
- (2) 居住に必要な水の供給を受ける者の区域を示した書類
明細地図(1/10,000以上)を添付し、供給を受ける者の居住区域を明示したもの
- (3) 取水施設、浄水施設の構造及び設備の概要並びに図面
ア 取水施設の構造図を添付する。
イ 浄水施設の構造図を添付する。ただし、消毒設備については、製造メーカー、型式、能力等の分かる書類を添付することで構造図に代えることができる。
- (4) 配水系統図(地中配管のみ)を含む水道施設の概要図
小規模水道施設の位置及び配列を示した図面を添付し、それぞれの各施設の取水量、延長距離、口径、容量などを記載する。
- (5) その他の書類
メーカー製造の配水池、配水管等において、製造メーカーが作成した構造計算書がある場合には、必要に応じて、荷重に対して十分な耐力があることを確認すること。

3 工事概要書の記載内容等

工事概要書には、次により内容を記載すること。

(1) 水源の種別及び取水地点

ア 水源の種別

地下水又は表流水の別を記載し、それぞれに次によりその詳細を記載すること。

(ア) 地下水とは、浅層地下水(概ね30m以内)、深層地下水、伏流水及び湧水をいう。

(イ) 表流水とは、河川水、湖沼水及びダム水をいう。

イ 取水地点

取水地点の所在地を記載すること。

(2) 原水の水質試験結果

条例第3条に規定する水質基準に掲げる50項目から、消毒副生成物11項目(塩素酸、クロロ酢酸、クロロホルム、ジクロロ酢酸、ジブロモクロロメタン、臭素酸、総トリハロメタン、トリクロロ酢酸、ブロモジクロロメタン、ブロモホルム及びホルムアルデヒド)及び味を除いた38項目検査の結果を記載すること。

なお、水質検査結果は、申請の日から1年以内に行った検査成績とし、成績書を添付すること。

(3) 小規模水道施設の概要

ア 取水施設

取水方法、取水量、揚水ポンプの有無、能力等

イ 貯水施設

有無、容量、材質等

ウ 導水施設

有無、導水管延長、口径、材質等

エ 浄水施設

(ア) 沈でん池の有無、方式、容量等

(イ) ろ過池の有無、構造、容量、ろ過速度等

(ウ) 浄水池の有無、構造、容量等

(エ) 消毒設備の型式、性能等

(オ) 浄水方法及び浄水能力

オ 送水施設

(ア) 送水ポンプの有無、能力等

(イ) 送水管延長、口径、材質等

カ 配水施設

(ア) 配水池の有無、構造、容量等

(イ) 配水管延長(地中配管のみ)、口径、材質等